

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年9月19日 (2013.9.19)

【公開番号】特開2012-194352(P2012-194352A)

【公開日】平成24年10月11日 (2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2011-58075(P2011-58075)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

H 0 4 N 13/02 (2006.01)

G 0 3 B 35/08 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

G 0 2 B 7/08 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 7/11 N

H 0 4 N 13/02

G 0 3 B 35/08

G 0 3 B 3/00 A

G 0 2 B 7/08 A

H 0 4 N 5/232 H

H 0 4 N 5/225 Z

G 0 2 B 7/11 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月1日 (2013.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

前記オートフォーカスの結果に対応したフォーカスレンズ位置に前記オフセット値を加算するか否かを切り替える補正切替手段を備えたことを特徴とする請求項 1 に記載の立体撮影用レンズシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記フォーカス制御手段は、前記一つのレンズ装置のフォーカスレンズ位置を出力し、
前記他のレンズ装置は、前記他のレンズ装置に前記可変操作手段を備えた装置が接続されていると、前記オートフォーカスの結果に対応したフォーカスレンズ位置に前記可変操作手段から出力されるオフセット値を加算することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の立体撮影用レンズシステム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

前記オートフォーカスの結果に対応したフォーカスレンズ位置に前記オフセット値を加算するか否かを切り替える補正切替スイッチを用い、前記補正切替スイッチがオンである場合には前記オフセット値を加算した合計値で示される位置に前記他のレンズ装置のフォーカスレンズを移動させ、前記補正切替スイッチがオフである場合には前記オフセット値を加算しない値で示される位置に前記他のレンズ装置のフォーカスレンズを移動させることを特徴とする請求項 1 2 に記載の立体撮影用レンズ制御方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

前記立体撮影用レンズシステムの一例では、前記オートフォーカスの結果に対応したフォーカスレンズ位置に前記オフセット値を加算するか否かを切り替える補正切替手段を備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 1】

前記立体撮影用レンズシステムの一例では、前記フォーカス制御手段は、前記一つのレンズ装置のフォーカスレンズ位置を出力し、前記他のレンズ装置は、前記他のレンズ装置に前記可変操作手段を備えた装置が接続されていると、前記オートフォーカスの結果に対応したフォーカスレンズ位置に前記可変操作手段から出力されるオフセット値を加算することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 0】

前記立体撮影用レンズ制御方法の一例では、前記オートフォーカスの結果に対応したフォーカスレンズ位置に前記オフセット値を加算するか否かを切り替える補正切替スイッチを用い、前記補正切替スイッチがオンである場合には前記オフセット値を加算した合計値で示される位置に前記他のレンズ装置のフォーカスレンズを移動させ、前記補正切替スイッチがオフである場合には前記オフセット値を加算しない値で示される位置に前記他のレンズ装置のフォーカスレンズを移動させることを特徴とする。